

学校法人 東京聖徳学園

SEITOKU FLASH 聖徳フラッシュ

聖徳フラッシュ 第34号 平成20年2月1日 発行 学校法人 東京聖徳学園 〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代) 聖徳学園ホームページ http://www.seitoku.jp/

- 聖徳大学大学院 聖徳大学附属小学校
聖徳大学 聖徳大学附属幼稚園
聖徳大学短期大学部 聖徳大学附属第二幼稚園
聖徳大学幼児教育専門学校 聖徳大学附属第三幼稚園
聖徳大学附属高等学校 聖徳大学附属浦安幼稚園
聖徳大学附属聖徳高等学校 聖徳学園三田幼稚園
聖徳大学附属中学校 聖徳学園八王子中央幼稚園
聖徳大学附属聖徳中学校 聖徳学園多摩中央幼稚園

聖徳学園創立75周年のキャッチフレーズが決まりました



学園創立75周年のキャッチフレーズ「香順特別賞」は、304件の応募の中から、次の2作品が選定されました。

- ・夢色のたすき、75年
・Dare to Dream. Seitoku

※75周年キャッチフレーズは香順特別賞をアレンジして作成しております。

「夢色のたすき、75年」を考案した附属聖徳高校三年の宍戸智美さんは、「75年前、聖徳学園に夢をかけた人がたくさんいると思います。今、この学園に就いている私たちは、その夢を目に見えないたすきとして受け継いでいきました。これからそのたすきを継ぐ人がいます。だからこそ、そのたすきがより良いものであってほしいという思いをこのキャッチフレーズにしました。」との事です。

聖徳大学附属小学校では、平成9年度以降毎年参加しています。夏休みに三十ページほどの課題図書を読み、その感想文を書いていきます。書きあがった児童の作品は、自分の言葉で思いを表現できているものが多いと感じられました。

そのコンクールの授賞式が昨年十一月二十四日(土)に行われ、学校賞では六年連続で、最優秀校賞(参加校九百六十六校の中で、第三位)を受賞することができました。また、個人賞でも五年



コンクール授賞式

「てのひら文庫賞読書感想文全国コンクール」は、(財)総合初等教育研究所が主催し、文部科学省が後援、(株)文芸堂と日本教育新聞社が協賛するものです。このコンクールは、小学生の読書力と書く力の高揚を目的として、一九七七年から実施され、今回で三十一回目を迎えました。

六年連続「最優秀校賞」受賞の快挙!! (個人賞)最優秀賞・優秀賞も受賞

附属小学校 「てのひら文庫賞読書感想文全国コンクール」

- 主なトピックス
てのひら文庫賞読書感想文全国コンクール 6年連続「最優秀校賞」受賞の快挙!!
平成19年度 第38回 千葉県県立教育功労者表彰
都立福岡高等学校と連携教育に関する協定締結
「インタビュ」日本文化科学! 日本の心と伝統を学ぶ! 専門性の高い特色ある4つのコース
第51回 グループ研究発表会を終えて 幼児教育専門学校
修学旅行を終えて 聖徳中学校・高等学校
地球の未来のために 第9回「みどりの小道」環境日記コンテスト 附属小学校
いつもお仕事をありがとうございます 附属第三幼稚園
通信教育部 4月生募集中

INDEX
学園 2
大学院・大学・短大 2~4
幼児教育専門学校 5
附属中・高 5
聖徳中・高 5
小学校 1~6
幼稚園 6~7
インフォメーション 8

ISO 9001 (教育の質マネジメントシステム)
ISO 14001 (環境マネジメントシステム)

ご意見/ご感想募集「聖徳フラッシュ」は皆さんの広報誌です。本紙に関するご意見・ご感想を下記サイトにて受け付けております。 http://www.seitoku.jp/gakuen/toiwase/

「その他のご意見・お問い合わせ」まで

個人賞で最優秀賞に輝いた、五年生の寺井風画君の作文をご紹介します。(原文ママ)

最優秀賞

タイトル 二度目の地獄からの脱出
五年生 寺井 風画
(課題図書:芥川龍之介 『くもの糸』)

その時ぼくには、「しまった!」という、カンダタの悲痛なさけびが聞こえた。このくもの糸はおれのものだと、下りる下りる、とわめいたとたん、くもの糸はプツリと切れてしまふ。あつという間にカンダタは、元の地獄へと落ちてしまった。

ぼくは、この時のカンダタがあわれで仕方がなかった。自分だけが地獄から抜け出したいという心は、確かにあさましいが無理もない。こんなにつらい地獄の責め苦にあつていたら、だれだって抜け出したいと思うはずだ。

考えるだけでもおそろしいことだが、もしもぼくがカンダタと同じ状況だったなら、冷静な判断などできるわけがない。ぎつと、怖くて不安で、自分勝手なことをわめき散らしてしまつた。それなのに、この時点でくもの糸を切るのには、おしゃか様は少し厳しすぎるのではないだろうか。

そもそもこのカンダタという男は、どういふ人間のだろう。小さきものの命をむやみにとるのはかわいそうだと、くもを助けた。つまり、意味なく殺しはしないということだ。となると、色々と犯した罪も、それぞれに理由があったのかも知れない。

だからこそ、おしゃか様はカンダタの優しい心を確認、その心がまだ残っているかどうかを試したのではないだろうか。地獄のつらさで優しい心を忘れていたカンダタは、くもの糸が切れたことでやっと本来の優しさを取り戻し、同時にくもの



(左)2年生 須藤遼輝(優秀賞) (右)5年生 寺井風画(最優秀賞)

りしないものなのかもしれないけれど、ぼくにはそうとれた。また、「極楽のはすはそんなことには少しもとんちやくない」という表現が、「もう全て終りです」というおしゃか様への、厳しさの感じ。なぜか母にしかられた時に見た夕陽がよみがえり、無性に寂しくなつた。従つて、おしゃか様が今のカンダタにくもの糸を下ろすことは絶対になんかと思ふ。父が言うように、同じ過ちを延延と繰り返すほどカンダタがおろかし気とは思われない。また、母の意見では、罪人として償いが足りないような気がする。そこでぼくは、二度目の地獄で大変ながんばりを見せて、急成長したカンダタを想像した。責め苦を受けながらも必死で耐えるカンダタ、二度目のくもの糸を期待しないカンダタ、仮にくもの糸が目の前に下りて来ても私には資格がないと言ひ切れるカンダタ。目の前のくもの糸にすがることなく、ただ黙々と地獄を受け入れるカンダタを、おしゃか様はきつと極楽へ連れて行って下さるに違いない。そして今度は、くもの糸ではなく、はずの葉にカンダタを乗せ、ゆつくりと天に向かつてのぼりて行く様子が目に浮かぶ。のぼりて行く間に疲れ切つたカンダタの顔が段々おだやかになり、極

附属小学校「てのひら文庫」受賞歴(過去10年間)

Table with columns: 年度(回数), 学校賞, 文部(科学)大臣賞, 石森延男賞, 最優秀賞, 優秀賞, 優良賞, 佳作・奨励・努力賞. Rows show data from 平成10年度 to 平成19年度.

※文部(科学)大臣賞は、最優秀賞受賞者から選出される。また、石森延男賞は、数回に渡って優れた成績を残した者に贈られる。

都立篠崎と 高等学校と 協定締結



かねて、篠崎高校より幼児教育・保育を志望する在校生のために、是非、本学との協定を締結したいとの要望があり、本学でも企画委員会において審議を重ねた結果、今回の協定締結となりました。

昨年十二月十三日(木)東京都立篠崎高等学校(茂泉吉則校長)と本学との連携教育に関する協定締結式が、本学クリスタルホール八五〇四会議室で行われました。締結式では、まず原田義也企画委員会副委員長(高大連携分科会長)より協定締結までの経過報告があり、川並弘昭学長と茂泉吉則校長の挨拶の後、両先生が互いに協定書に署名しました。



都立篠崎高等学校と聖徳大学との連携教育に関する協定締結式

今回の協定締結によって、両組織が責任を持って受講生を選定することで、大学のみならず、高校においても単位認定をする道が開かれたこととなります。この制度により、高校における授業の発展的な内容を学びたいという高校生の希望に応えることが

聖徳。ピーシーズが クリスマススイベントを企画

大学のボランティアグループ「聖徳。ピーシーズ」が松戸駅東口デッキ上にて昨年十一月二十三日(金)夜、松戸駅周辺にぎやか推進協議会主催のクリスマススイベント「松戸クリスマスファンタジー二〇〇七」のイルミネーション点灯式を行いました。



カウンタダウンと共に台座を含め高さ五・五mの大きな雌のコアラサンタがライトアップされ、夜空に浮かび上がりました。東口のコアラサンタは去年西口にお目見えした雄のコアラサンタのお嫁さんです。光り輝くコアラサンタが東西両

方で楽しめました。この日の点灯式は聖徳。ピーシーズが企画の段階から参加して当日の司会、運営の全てを行いました。点灯式ではサンタクロース姿の子ども達「リトルニッセ」が「あわてんぼうのサンタクロース」を歌い、女性シンガーとつとくさんのクリスマスソングで雰囲気盛り上げました。更にメインイベントである十二月二十二日(土)〜二十四日(月)の福引大抽選会では、特賞にオーストラリア旅行券が当たる抽選のお手伝いをして、二〇〇七年のクリスマススイベントは大盛況のうちに終了しました。

平成十九年度 第三十八回 千葉県私学教 育功労者表彰

本学園より、四名の先生が日頃の教育・研究の成果を認められ、今回の表彰となりました。心よりお祝い申し上げます。



安広 美智子 先生 (児童学科 教授)



齋藤 豊 先生 (生涯教育文化学科 准教授)



長谷川 晶子 先生 (社会福祉学科 准教授)

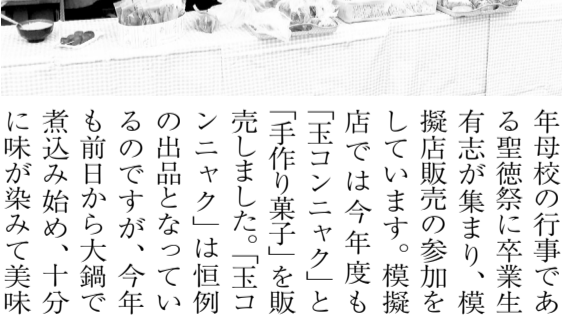


菱沼 久恵 先生 (第一被服研究室 助手)

日本大学・経済学部校舎の大会議室にて昨年十一月三十日(金)に開催された、日本インターシッパ推進協会主催の「平成十九年度インターシッパ成果報告会」で、人文学部臨床心理学科三年・甲賀詩織さんが、聖徳大学川並記念図書館で夏期休暇を利用して体験したインターシッパの成果を発表しました。当日は、文部科学省高等教育局、経済産業省経済産業政策局、日本インターシッパ学会の方々から講演があり、その後当協会に所属する四十四大学から選

インターシッパ推進協会主催 本学生が発表

出された九大学九名の学生が、会場に詰め掛けた約一〇〇人の関係者を前に発表しました。甲賀さんは、山梨大学、日本大学、明治大学等から選出された学生らと共に、期間中に体験した様々な研修内容とインターシッパで得たこと、また、その感想をパワーポイントを使用して分かりやすく説明し、大好評を得ました。報告会終了後の交流会では、他大学の学生との交流を図り、学生にとって大変有意義な報告会になりました。



年母校の行事である聖徳祭に卒業生有志が集まり、模擬店販売の参加をしています。模擬店では今年度も「玉こんにゃく」と「手作り菓子」を販売しました。「玉こんにゃく」は恒例の出品となつていますが、今年も前日から大鍋で煮込み始め、十分に味が染みて美味

聖朋会の模擬店販売

聖朋会は、昭和六十一年に聖徳大学附属聖徳高等学校の同窓会として発足しました。現在の会員数は、平成十九年三月卒業の二十二期生までで七千七百三名になりました。聖朋会の主な活動として、会報の発行や総会の開催、母校の先生を講師に招いてのフラワーアレンジメントや料理教室等の開催、また、クラス会助成等を行っています。さらには、毎年母校の行事である聖徳祭に卒業生有志が集まり、模擬店販売の参加をしています。模擬店では今年度も「玉こんにゃく」と「手作り菓子」を販売しました。「玉こんにゃく」は恒例の出品となつていますが、今年も前日から大鍋で煮込み始め、十分に味が染みて美味

聖和会活動報告

聖和会は、本学通信教育部の短期大学部、大学、大学院の同窓会で、現在約三千名弱の会員数となっております。本会は総会と役員・支部長研修会を年度により交互に開催しており、また首都圏の支部においても支部会が開催されています。本年度については、昨年五月に役員会を本学で、七月には役員・支部長研修会が熱海にて開催されました。研修会では予算、決算報告のほか、各支部長より、支部の現状及び学生の学習相談に関する対応等の報告がなされ、また親しく親睦を深めて実りある研修会となりました。また、東京支部では本年一月二十日(日)に赤坂の明治記念館において支部会が開催されました。平成二十年度は学園創立七十五周年の記念すべき年であり、また現在建設中のメディアセンターと図書館を中心とした新館も完成を迎えます。今年には総会を開催する年となっております。本学において夏期に開催する予定です。全国から会員の方々が集う賑やかな総会となるよう願っています。

キャリア支援室だより

『価値観を考える 就活準備セミナー』の開催！
他大学生・社会人(卒業生)との交流

平成二十一年三月卒業生を対象としたセミナーを昨年九月に続き、十一月二十日(木)に開催しました。これは、異なる学習環境・生活環境にある他大学生や他学科の学生、また、二、三年の社会(企業勤務経験のある卒業生とディスカッションすることにより、競争意識・広い視野・ポリシー・価値観について意識させることを目的として実施したものです。

開催後のアンケートでは、「良い刺激を受けた。今度は、同じメンバーで就職活動報告会をやろうと約束した」「色々な考え方を、話し方の人と話せて勉強になった」等、満足度の高いものが多く見られました。

9月15日(会場:キャリア教育ルーム)



グループ毎にプレゼン資料の作成



参加者全員の就活成功を祈って!

12月20日(会場:本学10号館12階)



他大学生とディスカッション



マナーの重要性を体感

「他大学生とのディスカッション編」
「社会で大切になることを新たな仲間と学ぶ」

本年二月以降も様々なセミナー・ガイダンス等を企画したいと思っております。

日本文化学科
日本の心と伝統を学ぶ！

専門性の高い特色ある4つのコース



日本文化学科 学科長 林 史典先生
准教授 北原 博雄先生
歴史文化コース 講師 石本 敏也先生
書道文化コース 教授 海野 濤山先生
図書館情報コース 講師 相良 佳弘先生

Q1 日本文化学科の特色は？
他大学の同系学科との違いは？

【林】本学の日本文化学科は、他大学の文学部とは異なり、各コース(専攻)が「日本文化」という共通のテーマによって統合されています。具体的には、「日本語・日本文学コース」、「歴史文化コース」、「書道文化コース」、「図書館情報コース」の四コースで構成されます。

中でも、書道文化コース、図書館情報コースを含んでいる事が特色です。通常、書



林史典先生

道の専攻は、教育学部の国語科の中に一部ありますが、芸術性を重視しつつも、教員養成が可能な学科はあまりありません。

また、欧米では図書館の専攻を文学部の中に入れていた事例は少ないと思います。特に、大学の図書館は、非常に大切なインフラで、知の集積であるといえます。

【相良】本学科では、日本文化が生み出される過程を調べる事が重要となりますが、図書館には、「文化を保存し、それらを次の新たな文化を生み出すのに役立たせる」という使命があります。

その際、大切なのは日本語です。ものを探するとき図形で探す、音で探す事もあります。が、どうしても言葉で探す事が中心になります。どう言葉で表現しているか、どのような言葉で表現されているか、どのようがきちんと理解されているか、と、上手く探せないし、何を探しているのか分からなくなります。

【石本】歴史文化コースには、古代史、中世史、近現代史、美術史、考古学、民俗学等の専門の先生が揃っています。また、学科には四つのコースがありますが、コースの垣根を越えて授業を選択出来ます。

【海野】書道は、そのものが文化です。どんな美術・文学でも書かないと歴史になりません。書は書いただけで文化となりません。それが書道の一要素らしいところです。

日本の文化は中国に強い影響を受けています。中国の

Q2 日本文化学科の教育が目指す学生像は？



北原博雄先生

【北原】私の専攻する日本語学は、非常に学際的であり、さらに、日本だけでなく、異文化の言語も扱うので、つきつめていくと他のコースで学ぶための土台になります。

【相良】自分で問題を設定して解決する学生です。解決するために手段を選び、実行出来る学生を送り出せばベストだと考えています。学生が、テーマを設定して自分で解決、研究する技術を身につければ、社会人になっても役に立つと思います。

【石本】自分で物事を考える。資料から、メッセージを読み取る感性を身につけて欲しい。歴史に柱を置きながら、自分で考えられれば素晴らしいと思います。

【海野】学生には自分を表現する事を教えたいと思います。学生は、大学に入学するまで表現する事を学んでいません。特に、書道にはお手本

守る事しかしてきていません。書道では、書を書いて自分を表現する。自分を表現する事の出来る学生を育てたい。また、社会に出て、祝儀袋のし袋に文字を書ける等といったように、日常的に書道の使える人になって欲しい。

【北原】問題を見つめる力をつけて欲しい。論語に「學びて思わざれば則ち罔(くら)く、思つて學ばざれば則ち殆(あやう)し」とあります。学んで自分のものとする。「ああそうか」と、思つて終わるのではなく、それを反芻して肉にしないと駄目です。

【石本】私の専攻する民俗学は、生活文化に関連する内容です。素材は沢山あります。今を知るために昔を知る。歴史は古文書を読むだけでなく、身の回りに興味を持つ、気になる事が大切です。

【海野】芸術をやっていくには、先ず感動する事が第一です。単に字を書く事には不賛成です。物事に興味を持ち、感動する心を養い、それを作品に投入する。しかし、何のために字を書くか分からない学生が多い。自分の心を書く事を身につけて欲しい。



石本敏也先生

【海野】「書道文化コース」は、授業に付随するクラブ活動が盛んです。書道コースの学生全員が、書道クラブに所属しています。授業で補いきれないところを質問し解決します。また、卒業後も展示会に参加する事が多く、そこには、卒業生同士が楽しく集まる場になっています。

【北原】学生を博物館に連れて行く文学散歩を実施しています。浅草周辺では松尾芭蕉で、今年には樋口一葉なので

本郷周辺です。毎年、日本語・日本文学コースの三年生は、ほぼ全員が参加しています。

Q4 学問以外に何を一番身に付けて欲しいですか？

【相良】いろいろな試した上で、自ら判断して欲しい。例えば、インターネット上のサイトの中には、有害な情報もありますが、単に見なければいいというものではありません。何が正しく、何が間違っているのかを自らの思考で判断・取捨選択する事が大切なのです。

【石本】私の専攻する民俗学は、生活文化に関連する内容です。素材は沢山あります。今を知るために昔を知る。歴史は古文書を読むだけでなく、身の回りに興味を持つ、気になる事が大切です。

【海野】芸術をやっていくには、先ず感動する事が第一です。単に字を書く事には不賛成です。物事に興味を持ち、感動する心を養い、それを作品に投入する。しかし、何のために字を書くか分からない学生が多い。自分の心を書く事を身につけて欲しい。



海野濤山先生

【林】理学部の学生にねずみの解剖をさせ、それが学生の知識、意欲を刺激した例があります。今の学生は視野が狭く、専門分野や好きな事にのみがちで、オタクになる傾向があります。新しい発想は向かっています。新しい発想は異質な分野からヒントを得、挑戦してみる中で生まれるのです。自分のやりたい事とまったく違う事に挑戦して欲しい。

【相良】図書館情報学の立場からも、暗記を中心と考えて欲しくありません。なぜなら知識は図書館に蓄積されています。暗記が勉強ではありません。そこにあるものをいかに使うかが、教養ある人間の能力であり、知恵です。知恵のある人になりましょう。

Q5 在学中の学生及び、これから日本文学学科を目指す学生に一言お願いします。

【石本】感性豊かな人間、考える人間になっていただきたい。そのために私は、身の回りの事に関心を持っていただきたい。

【海野】書道文化コースでは、入学前に大学の書道の専門的な技術が無いと心配する人がいますが、その点は全く心配の必要はありません。要はある程度の経験は必要ですが、やる気さえあればいいと思います。

【北原】海外に行つて、外国の大学の学生と話す時、「日本人らしい」とはどういう意味かを考えます。卒業時には、日本を体現、説明出来るような人間になつてほしいと思います。

【林】大学は学生にとって楽しいところではないけれど、いけません。それは私の持論でもありません。達成感その人にとって、一番の楽しさの要因になって欲しい。それには何が必要でしょうか。本学では学ぶ事を楽しむ。その達成感の楽しさを体験して欲しいと考えます。入つてよかった大学ではなく、出てよかった大学であつて欲しいと思います。



相良佳弘先生

【石本】感性豊かな人間、考える人間になっていただきたい。そのために私は、身の回りの事に関心を持っていただきたい。

【海野】書道文化コースでは、入学前に大学の書道の専門的な技術が無いと心配する人がいますが、その点は全く心配の必要はありません。要はある程度の経験は必要ですが、やる気さえあればいいと思います。

【北原】海外に行つて、外国の大学の学生と話す時、「日本人らしい」とはどういう意味かを考えます。卒業時には、日本を体現、説明出来るような人間になつてほしいと思います。

【林】大学は学生にとって楽しいところではないけれど、いけません。それは私の持論でもありません。達成感その人にとって、一番の楽しさの要因になって欲しい。それには何が必要でしょうか。本学では学ぶ事を楽しむ。その達成感の楽しさを体験して欲しいと考えます。入つてよかった大学ではなく、出てよかった大学であつて欲しいと思います。

平成20年度 後援会支部総会併催の進学相談会

日程	支部名	開催場所
6月15日(日)	北海道支部	札幌グランドホテル(札幌市)
9月14日(日)	新潟地区支部	ホテルニューオータニ長岡(長岡市)
9月21日(日)	甲信地区支部	談露館(甲府市)
10月5日(日)	東北(北)支部	ホテルニューカーナ(盛岡市)
10月19日(日)	静岡県支部	三島グランドホテル(三島市)
10月26日(日)	九州・沖縄地区支部	ホテル日航那覇グランドキャッスル(那覇市)
11月16日(日)	東北(南)支部	郡山ビューホテルアネックス(郡山市)
11月23日(日)	千葉県支部	聖徳大学(松戸市)
11月30日(日)	茨城県支部	ホテルCANKOH(土浦市)
12月7日(日)	東京地区支部	聖徳大学(松戸市)
12月14日(日)	北関東支部	JA共済埼玉ビル(さいたま市)

平成二十年度 後援会支部総会併催の進学相談会が、平成十九年度後援会支部総会併催の進学相談会が、平成十九年度は全国十一会場で開催されました。この進学相談会は、全国十一支部の後援会支部総会と併催するもので、遠隔地在住のため松戸キャンパスに来校出来ないという受験生が数多く来訪しました。この進学相談会は業者主催の相談会と違い、落ち着いた雰囲気の中で、ゆつくり相談出来るという特長があります。本学主催で日曜日開催ということもあり、保護者同伴で来訪する受験生が多く、受験相談担当の職員に熱心に質問をしていました。

これまでは受験生を主な対象としていましたが、昨今の高校生の受験行動の早期化に合わせ、平成二十年度は、高校一・二年生の集客も積極的に考えていきたいと思っております。

第九回音楽文化学科定期演奏会開かれる!



聖徳オペラ「シモン・ボツカネグラ」、「フィガロの結婚」公演、「モーツァルト in 聖徳2006」、「フィガロの結婚」公演の再演、そして、「魔笛」公演等、社会における活動も精力的に行っている音楽文化学科は、来年度より「音楽学部」として人文学部から独立し、新しいスタートを切ります。また、本学大学院音楽文化研究科博士後期課程の青戸知さんが、音楽文化研究科初の「博士号」を取得し、昨年十一月一日に東京/サントリ小ホールにて、博士号取得記念リサイタルを開催しました。

十二月八日(土)、川並香順記念講堂にて音楽文化学科定期演奏会が開催されました。師走の土曜日にもかかわらず、卒業生はじめ、沢山の来客が来場され、代表学生による演奏が始まり、川並香順記念講堂という大きな空間の中で、声楽、ピアノ、管楽器、打楽器、パイプオルガンの精一杯の熱演が客席に鳴り響きました。オランダ・フレントロップ社製のパイプオルガンで演奏出来るとは、実に恵まれた環境です。他には、管楽器アンサンブル、打楽器アンサンブル、電子オルガン、作曲の新作発表があり、オーケストラで締めくくられました。昨今の聖徳大学ファイル

記念講堂にて音楽文化学科定期演奏会が開催されました。師走の土曜日にもかかわらず、卒業生はじめ、沢山の来客が来場され、代表学生による演奏が始まり、川並香順記念講堂という大きな空間の中で、声楽、ピアノ、管楽器、打楽器、パイプオルガンの精一杯の熱演が客席に鳴り響きました。オランダ・フレントロップ社製のパイプオルガンで演奏出来るとは、実に恵まれた環境です。他には、管楽器アンサンブル、打楽器アンサンブル、電子オルガン、作曲の新作発表があり、オーケストラで締めくくられました。昨今の聖徳大学ファイル

第8回 児童学科・保育科 ピアノ演奏会



平成十九年十二月五日(水)に川並香順記念講堂において「第八回児童学科・保育科ピアノ演奏会」が開催されました。

五月にオーディションで選ばれた、児童学科四年生、

保育科二年生の学生、総勢五十八名の学生が独奏、連弾、二台ピアノでのアンサンブル等、バラエティーに富んだプログラムで発表しました。

彼女達が、実習や就職活動等、忙しいスケジュールの中で、厳しい練習を積み重ねて一生懸命演奏する姿は、一緒に学んできた同級生、後輩をはじめ、聴衆に感動を与えました。来客の感想の一部を紹介いたします。「素晴らしい演奏でした」「予想だにできなかった」「聖徳教育の本領がここにあり」「今後もこの活動を是非継続してほしい」「一人ひとりの演奏に対する熱意がとても良く伝わった」「聴きに来た甲斐があった」等々、多くの感想が寄せられました。

名曲の美しさや、癒しの力もさることながら、この演奏会は、達成感を持ち、経験値を高める良い機会だと思っております。そして、保育の現場においても活かされていくことではないでしょうか。とかく頭でっかちになりがちな現代の幼児にとつて、心の豊かさが求められています。千差万別の子どもの達に、それぞれ対応するのは難しいことですが、保育者が努力して培った表現能力というひとつの術を持つ価値は大きいと思えます。

また、聴覚の発達が著しい幼児期、影響力の大きい保育者が高い音楽力を持つ事は、何より望まれると思えます。

BISOCIE コンペティションが開催されました

総合文化学科

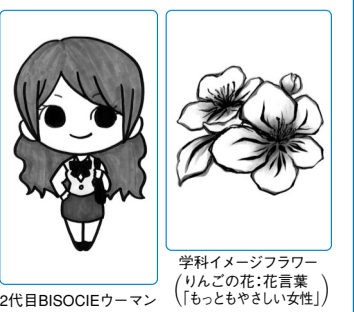
短期大学部総合文化学科では、平成十八年度文部科学省現代GP採択事業として、キャリア支援室と協働で「人間力を養成するユニット別キャリア教育」を行っています。これはグループワークや営業責任者セミナー等、様々なプログラムで構成されていますが、その一つに、グループごとに行うウェブ壁新聞「BISOCIE」の制作があります。

この新聞の順位を競う第二回目のコンペティションが、

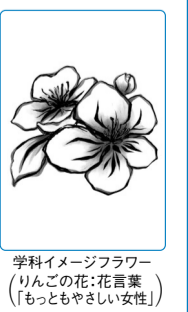


プランキャラクター (観光プランチ)

昨年十二月十五日(土)に学内で開催されました。各グループが持ち時間八分でプレゼンテーションをした後、参加者全員がグループごとに用意された投票箱に投票します。厳正な審査の結果、全体で九グループのうち、一位観光ホテルプランチ「HAPPY ウェディング」、二位文芸編集プランチ「松戸の伝統文化」、三位「フード・幼児栄養プランチ」美味いお弁当」となりました。どのグループも工夫を凝らした発表を堂々と行い、来賓や先生からの質問に対しても、一所懸命答えている姿が印象的でした。これらの作品は当学科のホームページに三月頃掲載予定です。是非ご覧ください。また、学科のイメージフラワー、二代目BISOCIEウーマン、プランチキャラクター(プランチごと)にもあります。学生のデザインによるものです。



2代目BISOCIEウーマン



学科イメージフラワー (りんごの花:花言葉「もっともやさい女性」)

潜在介護福祉士のブラッシュアップを計画

介護福祉学科

介護福祉学科は、介護福祉士養成校として、十九年間の歴史があり、卒業生も千人を超えました。卒業生は、それぞれの現場で活躍している一方で、結婚などを理由に退職したという報告も聞かれています。

厚生労働省の調べによりますと、資格を持ついながら介護の職に就いていない、いわゆる潜在介護福祉士は約二十万人いるとされています。その中には、結婚や出産に伴い、介護の現場から離れた方も多くいます。

第四十三回 聖徳祭実施に貢献し、学長から表彰される

聖徳大学 聖徳大学短期大学部では毎年、聖徳祭の実施に関して学友会会長、聖徳祭実行委員長のうち優れた学生を表彰しております。平成十九年度は、学友会会長を務めた齋藤千恵さんと聖徳祭実行委員長を務めた宮崎あやなさんが、第四十三回聖徳祭の実施に関して大きく貢献したことが認められ、十二月七日(金)の教員会で学長先生より表彰されました。二人は今年のテーマである「PASSION」熱き想いを胸に、身を投じて実践してきました。二人の想いが多くの学生に伝わったことで、熱い聖徳祭になったのではないかと思います。

当日は、教員会という多くの先生方がいらっしやる中で、学長先生がいらしたため、二人とも大変緊張していましたが、先生方から拍手やお祝いの言葉をいただき感慨深いものがあつたと思っております。

この表彰を機に二人がリーダーとして成長することを期待します。



学友会会長 齋藤 千恵



聖徳祭実行委員長 宮崎あやな

幼児教育専門学校

第五十一回 グループ研究発表会を終えて



師走のあわただしい中、また、日曜日にもかかわらず、大学、短大、三田三園の先生方五十七名という大勢の参加を頂き、活発に楽しく進める事が出来ました。今回は、発表のためにO・H・Cの機器も入れていただき、見やすく、分かりやすくなり好評でした。そして、松戸の短期大学部II部三年生の発表が三田の専門学生に良い刺激を与える機会となり、また来年の発表に向けて幅が広がりました。

グループ研究発表会は今年度から、例年より一ヶ月早い十二月十六日(日)に開催されました。発表日を早めたのは、学生生活を充実させ、就職、ピアノに専念し、卒業を迎えられるようにするためです。

クリーン隊出動!!



三田キャンパスには、大きなけやきの木が二本あります。秋には艶やかに色づき、冬になるとひらひらと葉が散り始めます。寒さも増す昨年十一月、学生と教職員による朝の園庭掃除が始まりました。本校のキャッチフレーズである、「保育の聖徳・実力ある保育者養成」を実践する、在校生のスキルアップのための、近隣の幼稚園・保育所へのインターンシップ・ボランティア活動の一環です。この活

た研究が素晴らしかった」「二年生の声」

「緊張したけれど、実践を発表できて本当によかった」「もっと前から時間をかけてやればよかった」

この研究を通して、「やり遂げた達成感」「お互いに助け合う大切さ」を学び、今後、保育者になった時には是非活かして欲しいと思います。



動は「クリーン隊」と呼ばれ、専門学校生のボランティアで行われています。「クリーン隊」の活動の流れは、まず幼稚園の先生、園児と一緒にラジオ体操を行い、その後一斉に掃除を行います。最近では、落ち葉を掃くことに慣れていない学生が多く、良い経験になっているようです。学生にとって、クリーン隊の活動は将来、現場に出た時の貴重な体験となるように、一つ一つの経験を今後の生活に活かして欲しいと思います。

聖徳中学校・高等学校

九州修学旅行



聖徳大学附属高等学校・聖徳高等学校、両校合同の九州修学旅行は、昨年十一月十七日(土)～(五)泊六日の日程で行われました。高校二年生を対象とし、生徒三百二十八名、教職員二十四名、総勢三百五十二名の顔ぶれとなりました。両校の報告を紹介致します。

修学旅行前に「楽しい旅行にする」「時間を守る」「しっかりとあいさつをする」という目標のもと、修学旅行の意義や目的について話し合い、旅行に臨みました。旅行中は好天が続く、例年になく気温も高かったため、快適に過ごす事が出来ました。平戸、長崎市内、普賢岳、雲仙、熊本城、阿蘇火口、吉野ヶ里遺跡、太宰府等、予定さ

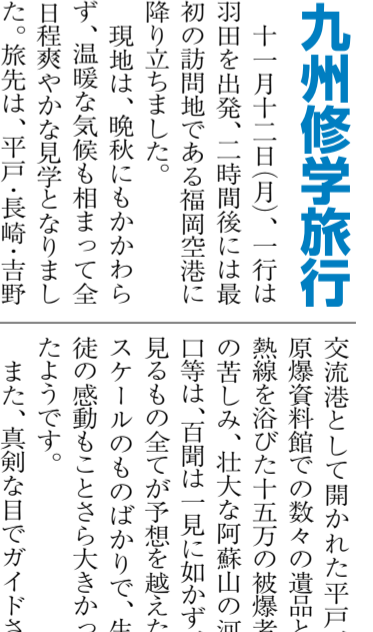
修学旅行の思い出

五年S組 米川 仁美

高校生での修学旅行は、一生の思い出となる素晴らしいものになりました。友達との交流が深められ、たくさんおいしいものを食べる事ができ、大きな自然と立派な歴史に触れることができました。たくさんのお土産がうれしかったです。た山、渦を巻きながら激しく騒ぐ川、そして人間が作り出した寶石の山のような夜景、どれも今までにない感動を味わうことができました。中でも私の心に深く残ったのは、長崎で原爆という残酷な歴史に触れたことです。原爆資料館にはたくさん写真と被害を受けた人の声がありました。目を覆いたくなるような光景が広がり、もし自分がその時代、その

附属中学校・高等学校

一日校外学習



十一月十二日(月)、一行は羽田を出発、二時間後には最初の訪問地である福岡空港に降り立ちました。現地は、晩秋にもかかわらず、温暖な気候も相まって全日程爽やかな見学となりました。旅先は、平戸・長崎・吉野ヶ里・熊本・阿蘇・太宰府と、有史から戦後史まで、その多くは歴史の宝庫を探索するものでした。また、広大な環濠を巡らす吉野ヶ里、西洋との

五泊六日の修学旅行で、生徒たちは自主的に「三つの管理」をきちんと行い、ルールを守って生活をする事が出来ました。その結果、体調を崩す者もなく、無事六日間の旅行を終える事で、所期の目的を達成出来たと思っております。

一日校外学習

第一学年は、昨年十一月二日(金)に、上野の国立科学博物館と国立西洋美術館に、一日校外学習に行きました。

前日まで、雨天の心配もありましたが、当日は解散まで、なんとか天気もちこたえ、科学博物館の屋上で楽しく昼食をとることもできました。生徒達の学習態度は、科学博物館でも美術館でも、意欲的で大変立派でした。両館とも、学習シートの答えを出そうと、真剣なまなざしでした。科学博物館の学習シートは、博物館のサイトからダウンロードし、印刷したものを使用しましたが、美術館の学習シートは本校美術科の黒沼先生



国立科学博物館

の手作りでした。ちょうど、美術館の常設展が工事中だったので、びったりフィットするオーダーメイドの学習シートになり、生徒達の学習に大いに役立つと思います。科学博物館では、先ず、企画展の「ファール展」を見学し、それから日本館の常設展、最後に地球館の常設展を見学しました。地球館は六階に分

かれていたので、生徒たちも六つに分かれ、それぞれ出発階を別にしての見学スタートです。一番人気があったのは、二階の「物理の実験ゲーム」の部屋でした。いろいろなことが体験出来て楽しかったようです。午後見学した美術館の企画展は「リンク展」でした。楽しい充実した一日でした。



附属小学校

千葉県私立小学校の未来のために

千葉県には八校の私立小学校があります。その千葉県の私立小学校が協力して、毎年一回教員の研修会を開いています。二年前に新たに再開して、今年で三回目となりました。今年度は、本校を会場校として十一月二十一日(水)に開催されました。

この研修会は、会場校の特色に応じて行われます。本校では、総合学習の象徴である「至校ページェント」を、百六十名の参加者に見ていただきました。ページェントのクライマックスで、十六枚のカードを組み合わせた「和」の文字を完成させた時には、盛大な拍手が送られました。参会の先生からは「全校児童が心を一つにして本当に素晴らしい演技を繰り広げてくれました。音楽、図工、体育、国語、あらゆる要素が取り入れられ、先生方の協力体制と児童の意欲を感じました」との感想が寄せられました。



公開授業では、全学級の授業を公開しました。特色ある礼法授業には、参観者が多く集まりました。「礼法、素晴らしいです。今の日本人が忘れかけている何かを教わったように感じました」との声が聞かれました。

普段はあまり交流のない私学教員同士です。初めて訪れる先生方も多く、ふれあい広場、食堂、校庭など施設・設備の充実ぶりに、感嘆の声を上げる様子が見られました。

公開授業の後は、分科会ごとに各校の先生方が集まりました。分科会は、毎回の研修会で一番重要と考えられている情報交換の場です。どの分科会も、充実した意見交換が行われました。

今後千葉県私立小学校の未来のために、各校がそれぞれの特色を發揮し、切磋琢磨していくような実りのある研修会に発展させていきたいと思います。

「漢検」 準二級合格

六年生にとって、附属小での最後の「日本漢字能力検定」(十一月二日実施)の結果発表が、昨年十二月十一日(火)の表彰朝会で終わりました。今回、七級から準二級までの級を受験したのは五年生と六年生でした。その結果は、七級一名、六級十八名、五級五十六名、四級十二名、三級十四名、そして準二級十二名の合わせて百十三名合格となりました。

高校在学程度のレベルとなる準二級合格者の中で、団体内最優秀賞に選ばれた、六年生の藤原綾子さんに、「漢検」勉強法について聞きました。



最優秀賞 藤原綾子さん

「漢検」の勉強で大切な事は、とにかく「復習」する事だと思っています。最初に問題を解いて、間違えた問題に印をつけます。次からは、前回間違えた問題の復習をして、同じ問題を間違えないようにします。その繰り返しで、自然と間違える問題は減り、模擬テストの点数も上がっていききました。

地球の未来のために



第九回「みどりの小道」環境日記コンテスト

主催)は、十二週間、日記を書き続けるための励みとなる事を目的として実施されます。附属小学校からは三・四年生の児童が参加しました。昨年十二月十六日(日)に東京ビッグサイトで行われた表彰式では、附属小学校から八名の児童が受賞しました。

さらに、三・四年生の児童の努力により、学校・団体の部で金賞「グリーンクロスジャパン理事長賞」もいただくことができました。

表彰式には、インドネシア・バリ島で行われていた温暖化防止の会議(COP13)を終えて帰国したばかりの

「みどりの小道」環境日記とは、児童達が環境について書く日記です。環境問題を身近な問題ととらえ、「自分達で出来る取り組み」について考える事を目的としています。今年度、この日記は十萬部発行され、全国の希望する小学校等に配布されました。

環境日記コンテスト(財団法人グリーンクロスジャパン)



鴨下一郎環境大臣

- 学校・団体の部
 - 金賞「グリーンクロスジャパン理事長賞」 聖徳大学附属小学校
- 個人の部
 - 銀賞「グリーンクロスインターナショナル賞」 増田日菜子(3年)
 - 銅賞「グリーンクロスジャパン賞」 小野公実子(4年)
 - 佳作「グリーンクロスジャパン奨励賞」 秋本実徳(4年)・菅田咲希(4年)・中西真弓(4年)・中津留綾奈(3年)・山本瑞香(3年)

「復習」の大切さを力説してくれた藤原さんは、満点まであと一步の点数で合格したそうです。繰り返し勉強して、弱点を克服する事が、合格への王道であると、児童から教えられたように感じました。

準二級合格者のみなさん
左から長谷川仁美さん、岩倉歩美さん、山崎実緒さん、山本真奈さん、青木美都さん、千葉えみりさん、藤原綾子さん、杉浦亮平くん、吉田健くん、清野秀斗くん、樹田大景くん、園之原啓一くん

幼稚園短信

中学生のお兄さん・お姉さん大好き!! 八王子中央幼稚園

ここ三年程、地域の中学生が職場体験で来園する様になりました。平成十九年度は、十一月二十七日(火)と二十八日(水)の二日間、桐田中学校の二年生四名が来園しました。少々緊張気味の中学生に対して園児達は、「ねえねえ、お名前は何ていうの?」「一緒に遊ぼう!!」等、大歓迎で迎え入れ、飛びついていく園児も見られました。そんな園児の笑顔と元気に中学生も次第に笑顔が見られ、追いかけてこやくれんぼサッカー等、十分に体を動かして楽しんでいる姿が見られました。「○○お兄ちゃん、また明日も遊ぼうね」と、約束している様子も見られ、二日間園児達は、「先生、あなたのお兄ちゃん、サツカー凄く上手なんだよ!! 教えてもらっちゃった!!」お姉ちゃんが「かわいい絵を描いてくれたの」と、大興奮の二日間、お別れの時は「また来てね!! 遊んでくれてありがとう」と、なごり惜しむ姿が見られました。園児達にとっても、とても貴重な体験でした。



作品展

多摩中央幼稚園

昨年十二月一日(土)に、園児達が日常の保育の中で行っている、折り紙や絵画製作の面での成長を見て頂く作品展が開催されました。

園児達が「お菓子・ケーキ」をテーマに牛乳パックで骨組みを作り、絵の具で色を塗り、ペロペロキャンディーやドーナツ、チョコレートを作り、お菓子の家とケーキを皆で作りました。年中組は、表現あそびで「ブレイメンの音楽隊」をやるので、話に出てくる家をティッシュ

各学年毎にテーマを決め、そのテーマに沿って廃材や紙粘土、どんぐり、等を使い作品を作り上げていきました。また、空き箱やトイレットペーパーの芯や牛乳パックを使うことで資源を無駄なく使って製作する楽しさを味わったり、幼稚園の周りのどんぐり林で拾ってきたどんぐりのどんぐりで作品づくりをしたりと、秋の自然に触れて製作を楽しみました。共同製作も行い、年少組は「お菓子・ケーキ」をテーマに牛乳パックで骨組みを作り、絵の具で色を塗り、ペロペロキャンディーやドーナツ、チョコレートを皆で作りました。年中組は、表現あそびで「ブレイメンの音楽隊」をやるので、話に出てくる家をティッシュ

重なる二日間でした。後日、中学生より幼稚園にお礼の手紙が届き、そこには、「園児達の笑顔がとても嬉しく、幼稚園って楽しいところだと感じました」と、職場体験出来た事の喜びが書かれていました。今後も地域の学校との交流を大切にしていきたいと思っています。



力を込めて…餅つきべったん!

三田幼稚園

三田幼稚園では、毎年十二月第一週目に餅つき会を行います。今年度は、冷たい風が吹きながらも日向は暖かく、秋晴れの昨年十二月六日(木)に餅つきが行われました。園庭の櫻の葉がオレンジや黄色く染まる季節、園児達と共に餅つきを楽しんでいる様子が今年も見られました。まずは、餅つきの由来のお話です。「お餅はもち米からふかして杵と臼を使い、餅をつく」等のお話を聞いているところへ、いい匂いが漂い始めました。ふかしたての餅米の登場です。園児達は秋の光で、よりキラキラ輝いて見える餅米とい



匂いを同時に楽しみ、期待は膨れ上がりました。幼稚園技術の男性職員や、専門学校のサポートセンターの職員の皆さんの力をお借りして、餅つき開始です。「よいしょ!よいしょ!」と顔に汗を光らせながらつき手は、園児の声援を受け懸命に餅つきをして下さいました。幹事のお母様方に、この日は朝からお餅を頂きました。「良くかんで食べましょうね」との教師の言葉に耳を傾け、もぐもぐと美味しそうに食べていました。貴重な伝統行事の一つです。あんこ、きなこ、のり巻き…美味しかったね!!



楽しい親子クッキング

附属第二幼稚園

短期大学部保育科の先生方にご協力を頂き、年間通して継続的に実施している「リフレシユタイム」をご一緒にが昨年十一月二十八日(水)に行われました。今回は、佐伯節子先生、上野美保先生を講師にお迎え

し、ここにこパインッまほうのスーブルはくさいピンクサラダ」というかわい朝食メニューを紹介して頂きました。この親子クッキング講座は毎年大好評で人数限定、先着順とあって申込み日には早くから大勢の方が列を作っており、受付開始時間一〇分程で締切りとなり、大きな期待感が窺えました。当日は、親子揃って愛らしいエプロンと三角巾を付けると、佐伯先生より手順の説明を受け、早速調理の開始です。慎重な手つきで干しぶどうで目を、きゅうりで眉毛を、ステックチーズで鼻をと次々に顔のパ



イツを付けてあげたという間に完成しました。出来上がった顔が大好きな食パンマンとあって、食べるのにもつたない、そんな表情をしながらも皆んなうれしそうに味わっていました。終始なごやかな雰囲気が進められ、おみやげに五目ふりかけやさつま芋のガレットを頂き、参加者全員とても満足の様子でした。最近、食育に関する話題がいろいろと取り上げられております。ちょっとした工夫、アイデアで園児達の食に対する興味、関心を高めると共に食の大切さの理解を深めるとい事を改めて気づかされた親子クッキング講習会となりました。

2008 各園の表現あそび & たのしみまショー

〈表現あそび〉	〈たのしみまショー〉
● 多摩中央幼稚園 2月2日(土)	● 附属幼稚園 2月3日(日)
● 八王子中央幼稚園 2月9日(土)	● 附属浦安幼稚園 2月8日(金)・9日(土)
● 三田幼稚園 2月10日(日)	● 附属第二幼稚園 2月10日(日)

いつもお仕事ありがとうございます

附属第三幼稚園

昨年十一月二十三日(金)の「勤労感謝の日」にちなみ、松組、梅組の園児が日ごろからお世話になっている赤坂交番、赤坂消防署、JR成田駅、赤坂郵便局、千葉交通、千葉興業銀行、運動公園を訪問して「感謝の気持ちをこめて」作ったカレンダーをプレゼントしました。また、職場も見学させて頂きました。

梅組は、徒歩で交通ルールを学びながら交番と消防署に行きました。交番では、少し怖いと思っていたおまわりさんが、とても優しくお話をしてくださり、さらにパトカーにも乗せてくださいました。消防署では、園児の「どうやって火の中

素敵なお誕生会

附属幼稚園

園児の誰もが心待ちにしている月々のお誕生会、平成十九年最後の十二月生まれのお誕生会は昨年十二月四日(火)、短期大学部保育科の敷中征代先生と先生のお友達のピアノストの方にお願い頂き、「読み聴かせコンサート」と銘打って、ホールのステージのスクリーンに映し出させる絵本の映像と言葉とピアノの演奏を同時に楽しみました。これは、「大学の先生と遊ぼう」のひとこまで各々の先生方の専門分野を生かした内容を基に園児達と遊んで頂くもので、大学の附属幼稚園ならではの子育て支援対策事業の取り組みのひとつです。



園児の誰もが心待ちにしている月々のお誕生会、平成十九年最後の十二月生まれのお誕生会は昨年十二月四日(火)、短期大学部保育科の敷中征代先生と先生のお友達のピアノストの方にお願い頂き、「読み聴かせコンサート」と銘打って、ホールのステージのスクリーンに映し出させる絵本の映像と言葉とピアノの演奏を同時に楽しみました。これは、「大学の先生と遊ぼう」のひとこまで各々の先生方の専門分野を生かした内容を基に園児達と遊んで頂くもので、大学の附属幼稚園ならではの子育て支援対策事業の取り組みのひとつです。

松組は、幼稚園バスで各職場訪問をしました。郵便局では、手紙をポストに投函してから相手に届くまでの流れをビデオで知り、実際に手紙やはがきを地域別に仕分けする機械を見せて頂く園児達は、その仕分けの早さにびっくりしていました。千葉興業銀行では、金庫を見て「私のお部屋より大きい」と驚いていました。

JR成田駅では、Suicaを使って自動改札機を通りながら、駅長室では、駅長さんの帽子も被らせて頂きました。この他にもいろいろな仕事があり、みんなのために働いてくださる人がいる事を教えて参りたいと思います。

クリスマス会

附属浦安幼稚園

昨年十二月十四日(金)、浦安幼稚園のホール天井には、金・銀・赤・緑のモール、トナカイが天空をかけてソリを引いている装飾が窓ガラスいっぱい飾られました。全園児がホールに入り着席しました。五歳児松組の始まりの言葉でクリスマスツリーに灯がともると、同時に園児達と保護者の歓声があがり、全員で「メリクリスマス」を元氣よく歌いました。園長先生から、クリスマス会の由来についてのお話をされると、園児達は静かに聞き入り、イエスキリスト誕生に関心を持つ様です。そして、なぜ「クリスマスおめでとう」と言うのかも理解出来たようです。会場がうす暗くなると、「きよしこの夜」の曲をバツクに神様の使いの天使様が現れました。各クラスがクリスマス会の灯ともされた



二学期の園児達の最大イベントを通して、園児達が健やかに育ち、やがて父親母親になった時に、この日のクリスマス会の灯が懐かしく思い出の映像として心に残り、浦安幼稚園に来訪してくれることを願う貴重な一日でした。

あと、フロアの真中に各学年で、歌やリズム合奏をし、クリスマス会は最高潮に達しました。先生方の創作劇も終りに近づき、会場遠くから鈴の音が「シャンシャン」と聞こえて来ると、園児達は、期待感で「アッ!!」サントさんがきてくれたんだ」と口々に声をあげました。サンタクロースの手からのプレゼントを胸に抱き、しっかりと握手をしました。来年も浦安幼稚園に来てくださることをお願いしながら、いつまでも見送り、喜びとクラッカーの音と共にクリスマス会は終わりました。



言う声があちこちで聞かれました。これまでこのような形式で絵本を読み聴かせた事はなかったので、園児にとっても、また、私達教師にとっても思い出に残る素敵なお誕生会になりました。

平成20年度 入試日程

聖徳大学大学院通学課程 [共学/昼・夜開講]

研究科	課程	入試区分	願書受付期間	入試日
児童学/臨床心理学/言語文化/人間栄養学	前期	一般C・社会人特別C 私費留学生特別C	1月21日(月)～ 2月 5日(火)	2月10日(日)
	後期	一般C・社会人C	1月21日(月)～ 1月31日(木)	2月10日(日)
音楽文化	前期	一般C・社会人特別C 私費留学生特別C	1月21日(月)～ 2月 5日(火)	2月 9日(土) 2月10日(日)
	後期	一般C 社会人C	1月21日(月)～ 1月31日(木)	2月 9日(土) 2月10日(日)

聖徳大学大学院通信教育課程 [共学]

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
4月生	博士前期4月生(B日程)	1月28日(月)～ 3月 4日(火)	3月 8日(土)
	博士後期4月生	12月10日(月)～ 1月23日(木)	2月24日(日)

聖徳大学児童学部(女子)・人文学部(女子)・音楽学部(女子)・聖徳大学短期大学部(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
大学/短大	センターB	1月 7日(月)～ 2月20日(水)	— *1
	一般B	2月 4日(月)～ 2月20日(水)	2月22日(金)～2月23日(土)*2
	センターC	2月25日(月)～ 3月 7日(金)	— *1
	一般C	2月25日(月)～ 3月 7日(金)	3月11日(火)～3月12日(水)*2
	私費留学生C	2月25日(月)～ 3月 5日(水)	3月11日(火)

*1 音楽学部入試日:センターA 1/29(火) センターB 2/23(土) センターC 3/11(火)
 *2 入試日自由選択制(音楽学部は指定日:一般B 2/23(土) 一般C 3/11(火))

聖徳大学人文学部編入学(女子) 聖徳大学短期大学部専攻科(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
編入学	内部推薦C 一般C・学士C・社会人特別C	2月 4日(月)～ 2月20日(水)	2月23日(土)
	内部推薦D 一般D・学士D・社会人特別D	2月25日(月)～ 3月 7日(金)	3月11日(火)
専攻科	内部推薦C・一般C	2月 4日(月)～ 2月20日(水)	2月23日(土)
	内部推薦D・一般D	2月25日(月)～ 3月 7日(金)	3月11日(火)

聖徳大学幼児教育専門学校(女子)

推薦/特別入試	入試区分	願書受付期間	入試日
推薦/特別入試	後期B日程	1月28日(月)～ 2月 7日(木)	2月 9日(土)
	後期C日程	2月12日(火)～ 2月21日(木)	2月23日(土)
	後期D日程	2月25日(月)～ 3月14日(金)	3月16日(日)
一般入試	後期B日程	1月28日(月)～ 2月 7日(木)	2月 9日(土)
	後期C日程	2月12日(火)～ 2月21日(木)	2月23日(土)
	後期D日程	2月25日(月)～ 3月14日(金)	3月16日(日)

聖徳大学附属中学校(女子)・聖徳大学附属高等学校(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
中学	選抜入試第3回(午前)	11月 5日(土)～入試日当日	2月 5日(火)

聖徳大学附属聖徳中学校(女子)・聖徳高等学校(女子)

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
中学	一般入試(第3回)	2月 2日(土)～ 2月 8日(金)	2月 9日(土)

川並記念図書館の携帯サイトがオープン

このたび、川並記念図書館では、図書館資料をより一層活用しやすいように携帯サイトを開設しました。

下記のアドレスを携帯電話で入力またはQRコード*を携帯電話のカメラで読み取っていただくことで、図書館からの情報を手軽に利用することができます。内容は、1.お知らせ、2.展示会、3.図書新着、4.雑誌新着、5.図書検索、6.雑誌検索、7.貸出状況、8.予約状況、9.図書館カレンダー等です(貸出状況と予約状況をご利用の際には、学生専用のユーザID、パスワードを入力する必要があります)。どうぞご利用ください。

携帯電話用ホームページアドレス:

<http://www.seitoku.jp/lib/limedio/i/index.html>



QRコードの読み取り機能がある携帯電話で左記のQRコードを撮影すると面倒な入力なしで簡単に携帯電話用ホームページにアクセスできます。

*QRコード:(株)デンソーウェブの登録商標です

聖徳学園創立75周年記念誌の原稿を本学園卒業生の皆様から集めています!!

今年、聖徳学園は創立75周年を迎えます。これを機に学園のたどった道を回顧し、今後のさらなる発展を期して、本学園の卒業生の皆様からの思い出の一齣をお寄せいただき、記念誌「聖徳学園創立75周年記念 聖徳学園 心の教育を構築する—75周年を迎えて—」を作成することとなりました。学園生活を振り返り「本学で学んでよかったこと、楽しかったこと、うれしかったこと」について、原稿をお寄せ下さるようお願い申し上げます。

投稿方法

次のいずれかによって原稿をお寄せください。
 ただし、表題(タイトル)は17字以内でご自由におつけください。

1) 原稿のみによる投稿

400字詰め原稿用紙2枚以内で執筆してください。文字数にして800字まで。文章は縦書きとなります。

2) 写真による投稿

思い出の写真(1枚)でご投稿ください。この場合、写真の説明は160字以内でお書きください。お送りいただいた写真は、使用後学園資料として大切に保管させていただきますが、ご返却を希望される場合は、その旨を明記してください。

文体

執筆文体は「である」体をお願いします。
 原稿用紙は特に定めません。

原稿締め切り

平成20年4月27日(日)まで

その他

原稿の送付に当たっては、お名前(旧姓)・所属・卒業年を明記の上、顔写真(裏面にお名前を明記)を1枚、お送りください。

◎問合せ先・送付先

聖徳大学川並記念図書館内「聖徳学園創立75周年記念誌」編集係

(電話:047-365-1111(代) Fax:047-365-4900 / E-mail: kinenshi@seitoku.ac.jp)

聖徳学園の宿泊施設のご案内

春休みの旅行はかすが荘へ!

〈ただ今お得なプランも実施中です〉

かすが荘では現在期間限定のお得な特別プランを実施中です!この機会に皆さまお誘いあわせの上、どうぞお越しください!

〈新春(宿泊)プラン〉(実施中～4月25日(金)まで)

平日、日曜日のご利用に限定したお得な宿泊プランです。

1名様 1泊2食付 8,300円

*休前日のご利用は10,600円からとなります。

*小人(3歳～小学生)のご利用は6,520円となります。

〈保養連泊プラン〉(実施中～4月25日(金)まで)

60歳以上の方に限定した、宿泊プランです。

1名様 2泊4食付 14,000円

*休前日のご利用は1,050円増しとなります。

〈日帰りプラン〉(実施中～4月25日(金)まで)

日帰りの宴会と、温泉の入浴がセットになった日帰りのプランです。

1名様 4,200円



*写真はイメージです。仕入状況等で内容が変わることがありますのでご了承ください。

アクセス

[電車] 上野 → (長野新幹線) → 佐久平 → (路線バス) → 望月(乗換) → (路線バス) → 春日温泉
 ※佐久平駅からの送迎も承ります。現地フロント係へご相談ください。

[お車] 大泉JCT → (関越自動車道) → 藤岡JCT → (上信越自動車道) → 佐久I.C. → 春日温泉

ご予約・お問合せは現地フロント係が承ります。お気軽にお問合せください。

TEL:0267-52-2111 長野県佐久市春日2258-1

施設の詳細は本学園ホームページからご覧いただけます。どうぞご覧下さい!

http://www.seitoku.jp/gakuen/house/kasugaso/k00_top/ktop.html

学校法人 東京聖徳学園

〒108-0073

東京都港区三田3-4-28
 TEL.03-5476-8811(代)

発行人 川並弘昭
 編集 企画渉外課

08.2.1 re (21.5)

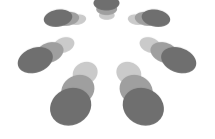


この印刷物は古紙配合率100%再生紙を使用しています。



この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。

夢色のたすき 100年へ



Dare to Dream SEITOKU 75th

読者の欄

学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。聖徳フラッシュは皆様の広報誌です。つきましてはインターネットを利用して皆様の聖徳フラッシュに対するアンケートを取らせていただいております。アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で学園オリジナルグッズをプレゼントしております。今後、ますます充実させていきたいと思っております。是非皆様からのご意見・ご感想をお寄せください。

〈アンケートURL〉 <http://www.seitoku.jp/gakuen/flash/index.html>

〈ご意見・ご感想の宛て先〉

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園 「聖徳フラッシュ」係まで

(インターネットからは <http://www.seitoku.jp/gakuen/toiawase/> の「その他のご意見・お問い合わせ」まで)